



むつみチルドレン

小学生～高校生を対象に、運動を通して発達支援をしています。5領域に沿った課題設定を行います。

運動・感覚

様々な運動を通して、身体のコントロールをする練習をします。身体感覚や様々な感触を体感し、感覚の成長を支援します。5感プラス固有受容覚、前庭覚にフォーカスし、身体の動きから苦手な感覚を観察し、フォローしていきます。新しい運動にチャレンジすることで、不安やプライドなどの複雑な気持ちにも注視します。

認知・行動

活動のリズムを作ることで、心身の安定を図ります。椅子に座る、話を聞く、嫌なことも頑張る等、ルールやスケジュールに沿って行動することを支援します。制作活動を通して、物の大きさ、形、感触など触れることで判別、理解していくことに取り組みます。偏食やこだわりなど、認知の偏りにも配慮しながら、個々の特性に合わせて環境を設定していくことで、円滑に学習できるよう努めます。

言語・コミュニケーション

聞く、見る、模倣するなど、周りを大切にするコミュニケーションを学びます。言葉だけでなく、ジェスチャーやカードなどの方法にも配慮していきます。多動や他害などの不適応行動の背景をみるようにし、社会的に適切な行動を支援します。

健康・生活

生活リズムの安定のため、メリハリのある活動を提供します。運動と休憩と、緊張と弛緩といった身体感覚にも注視していきます。リズムの形成により情緒の安定を図り、学校や社会において円滑に活動することを目指します。個々の特性に応じた食事や排せつのケアも行います。

人間関係・社会性

集団での活動を通して、ソーシャルスキルの獲得を支援します。挨拶・ルール・感謝などの基本的なスキルをはじめ、友人・協力・対立など、集団で発生する様々な関係も、相手を大切にしたい言動を選択できるよう、実践的に学んでいきます。